

①工事中

区分	解説
影響が a. ない	生育環境が保存されるダム本体の建設地以外の立地に生育する個体。
b. ある	生育環境が改変されるダム本体の建設地に生育する個体
c. 否定できない	—(建設時は、a、bのどちらかに区分される。)

表.「①建設時」の影響予測の結果

植物 (対象区域に生育する植物が対象)		影響(個体数)			
		a.ない	b.ある	c. 否定できない	
河川の植物	河辺岩上	半常緑~夏緑低木	150	14	—
		多年草	299	24	—
		多年草	0	0	—
		常緑多年草	12	0	—
	溪流辺	多年草	4	0	—
		1年草	1	0	—
		1年草	6	2	—
		夏緑低木	7	0	—
	河原	常緑低木	1	0	—
		常緑藤本	6	0	—
		夏緑高木	7	0	—
		多年草	2	0	—
	緩流辺	多年草	9	0	—
		多年草	16	0	—
		夏緑低木	2	0	—
		夏緑高木	4	0	—
	森林の植物	多年草	1	0	—
		夏緑高木	2	0	—
		常緑多年草	0	0	—
		多年草	4	0	—
常緑多年草		0	0	—	
常緑多年草		1	0	—	
多年草		121	0	—	
腐生植物		0	0	—	
常緑低木		0	0	—	
1年草		3	0	—	
多年草		34	0	—	
多年草		0	0	—	
多年草	1	0	—		
常緑多年草	0	0	—		
常緑多年草	1	1	—		
岩角地の植物	多年草	0	0	—	
	夏緑高木	0	0	—	
	多年草	0	0	—	
路傍その他の植物	多年草	0	0	—	
	夏緑高木	0	0	—	
	多年草	0	0	—	

②試験湛水時

区分	解説
影響が a. ない	—(サーチャージ水位以下の区域は、b、cのどちらかに区分される。)
b. ある	サーチャージ水位の範囲で、湛水期間 36 日以上(標高 100m以下)の立地に生育する個体。 (※大半は枯死する:補足資料 3-1-1)
c. 否定できない	サーチャージ水位の範囲で、湛水期間 36 日未満(標高 100mより上部)の立地に生育する個体。 (※生残するものもあれば、枯死するものもある:補足資料 3-1-1)

表.「②試験湛水時」の影響予測の結果

植物 (ダム堤体部を除いた、対象区域に生育する植物が対象)		影響(個体数)			
		a.ない	b.ある	c. 否定できない	
河川の植物	河辺岩上	半常緑~夏緑低木	—	147	3
		多年草	—	278	21
		多年草	—	0	0
		常緑多年草	—	12	0
	溪流辺	多年草	—	4	0
		1年草	—	0	1
		1年草	—	6	0
		夏緑低木	—	3	4
	河原	常緑低木	—	0	1
		常緑藤本	—	5	1
		夏緑高木	—	0	7
		多年草	—	2	0
緩流辺	多年草	—	8	1	
	多年草	—	5	11	
	夏緑低木	—	1	1	
	夏緑高木	—	0	4	
森林の植物	多年草	—	0	1	
	夏緑高木	—	0	2	
	常緑多年草	—	0	0	
	多年草	—	4	0	
	常緑多年草	—	0	0	
	常緑多年草	—	0	1	
	多年草	—	78	43	
	腐生植物	—	0	0	
	常緑低木	—	0	0	
	1年草	—	2	1	
	多年草	—	18	16	
	多年草	—	0	0	
多年草	—	1	0		
常緑多年草	—	0	0		
常緑多年草	—	1	0		
岩角地の植物	多年草	—	0	0	
	夏緑高木	—	0	0	
	多年草	—	0	0	
路傍その他の植物	多年草	—	0	0	
	夏緑高木	—	0	0	
	多年草	—	0	0	

誤) 0  
正) 12

種名  
〔貴重種情報  
につき非表示〕

③平常時

区分		解説
影響が	a. ない	平常時が現況の流速を維持することを前提とした場合、影響は生じない。
	b. ある	—
	c. 否定できない	—

表.「③平常時」の影響予測の結果

植物 (対象区域に生育する植物が対象)		影響(個体数)				
		a. ない	b. ある	c. 否定できない		
河川の植物	河辺岩上	半常緑~夏緑低木	164	—	—	
		多年草	323	—	—	
		多年草	0	—	—	
		常緑多年草	12	—	—	
	溪流辺	多年草	4	—	—	
		1年草	1	—	—	
		1年草	8	—	—	
	河原	夏緑低木	7	—	—	
		常緑低木	1	—	—	
	森林の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	常緑藤本	6	—	—
			夏緑高木	7	—	—
			多年草	2	—	—
			多年草	9	—	—
			多年草	16	—	—
夏緑低木			2	—	—	
夏緑高木			4	—	—	
多年草			1	—	—	
夏緑高木			2	—	—	
常緑多年草			0	誤) 1 正) 0	—	
多年草			4	—	—	
常緑多年草			0	—	—	
常緑多年草			1	—	—	
多年草			121	—	—	
腐生植物	0	—	—			
常緑低木	0	—	—			
1年草	3	—	—			
多年草	34	—	—			
多年草	0	—	—			
多年草	1	—	—			
常緑多年草	0	—	—			
常緑多年草	2	—	—			
岩角地の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	多年草	0	—	—	
		夏緑高木	0	—	—	
		多年草	0	—	—	
路傍その他の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	多年草	0	—	—	
		夏緑高木	0	—	—	
		多年草	0	—	—	

[備考] 試験湛水後、もともと生育していた特定種が再生したと仮定。

④洪水時

区分		解説
影響が	a. ない	出水時に流速の変化が生じる立地以外に生育する個体。
	b. ある	—(洪水時は、a、cのどちらかに区分される。)
	c. 否定できない	出水時に流速の変化が生じる立地に生育する個体。 (=出水時の攪乱強度が減ることで、長期的には(A)の生育が困難になるかもしれない。参考資料3-1-5)

表.「④洪水時」の影響予測の結果

植物 (対象区域に生育する植物が対象)		影響(個体数)				
		a. ない	b. ある	c. 否定できない		
河川の植物	河辺岩上	半常緑~夏緑低木	120	—	44 <sup>#1</sup>	
		多年草	272	—	51 <sup>#2</sup>	
		多年草	0	—	0	
		常緑多年草	12	—	0	
	溪流辺	多年草	4	—	0	
		1年草	1	—	0	
		1年草	8	—	0	
	河原	夏緑低木	7	—	0	
		常緑低木	1	—	0	
	森林の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	常緑藤本	6	—	0
			夏緑高木	7	—	0
			多年草	2	—	0
			多年草	9	—	0
			多年草	16	—	0
夏緑低木			2	—	0	
夏緑高木			4	—	0	
多年草			1	—	0	
夏緑高木			2	—	0	
常緑多年草			0	—	0	
多年草			4	—	0	
常緑多年草			0	—	0	
常緑多年草			1	—	0	
多年草			121	—	0	
腐生植物	0	—	0			
常緑低木	0	—	0			
1年草	3	—	0			
多年草	34	—	0			
多年草	0	—	0			
多年草	1	—	0			
常緑多年草	0	—	0			
常緑多年草	2	—	0			
岩角地の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	多年草	0	—	0	
		夏緑高木	0	—	0	
		多年草	0	—	0	
路傍その他の植物	種名 (貴重種情報 につき非表示)	多年草	0	—	0	
		夏緑高木	0	—	0	
		多年草	0	—	0	

[備考] 試験湛水後、もともと生育していた特定種が再生したと仮定。

※1: (A)の個体数は、参考資料3-1-5より算出。(これに2000m³/s以上の区域に生息している2個体を含んだ数値)

※2: この種は、(A)と同じ渓谷辺に生育する植物である。したがって、流速の変化による影響は、(A)とほぼ同じであると予想される。